損保ジャパン記念財団 NEWs

SOMPO JAPAN FOUNDATION

●助成先の決定～各地で贈呈式が行われています
- 自動車購入費助成
- NPO復興資金助成
- 海外助成
- NPO法人設立資金助成

●第12回損保ジャパン記念財団賞　贈呈式とシンポジウムの開催

など

発行者
公益財団法人損保ジャパン記念財団
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 損保ジャパン本社ビル　TEL：03-3349-9570　FAX：03-5322-5257
http://www.sj-foundation.org/　Eメール：sjf3340@sj-foundation.org

2011年度 Vol.2

自動車購入費助成を決定しました

障害者に対する福祉活動などを行う11団体に、自動車購入費助成を贈呈することを決定しました。
助成金は、１件100万円まで（被災地の団体は１件150万円まで）、合計1,150万円です。
今年度は、東日本大震災をふまえ、助成する福祉団体の募集対象を東日本地区（北海道・東北・関東・中部地区）として、2011年９月から10月にかけて公募したところ、78件の応募をいただきました。
損保ジャパンの各支店で贈呈式が開催される予定です。

【2011年度自動車購入費助成　助成先一覧】

都道府県	団体名	代表者（敬称略）	助成金額（予定）
北海道	特定非営利活動法人 はあと地域共同作業所	松永登志子	100万円
青森県	特定非営利活動法人　夢の里	鎌田　慶弘	100万円
宮城県	特定非営利活動法人 アフタースクールぱるけ	谷津　尚美	150万円
宮城県	特定非営利活動法人　結いのこころ	飯川　晴子	100万円
宮城県	特定非営利活動法人　くもりのち晴れ	佐藤　玲子	100万円

都道府県	団体名	代表者（敬称略）	助成金額（予定）
福島県	特定非営利活動法人　なこそ授産所	髙村トミ子	100万円
福島県	特定非営利活動法人　トマトハウス	安藤　敏子	100万円
茨城県	特定非営利活動法人　らしん盤	高島　睦子	100万円
東京都	特定非営利活動法人　おおぞら会	関口　節子	100万円
長野県	特定非営利活動法人　ほたか野の花	籾山　尚子	100万円
愛知県	特定非営利活動法人　ふれ愛名古屋	鈴木　由夫	100万円



＜ふれ愛名古屋＞



＜トマトハウス＞


＜おおぞら会＞

NPO復興資金助成を決定しました

東日本大震災の被災地に所在する、障害者や高齢者に対する福祉活動などを行う13団体を対象に、１件100万円まで、合計1,016万円のNPO復興資金助成を行うことを決定しました。
NPO復興資金助成は、東日本大震災により被災した地域において、障害者や高齢者を支援するために在宅福祉活動を行う団体の皆さまが、活動基盤を取り戻し、事業の拡充やサービス向上につながる活動につなげていただくことを目的として、復興資金として必要な費用の助成を行う事業です。2011年10月から11月にかけて公募したところ、35件の応募をいただきました。
損保ジャパンの各支店で贈呈式が開催される予定です。

【NPO復興資金助成　助成先】

都道府県	団体名	代表者（敬称略）	助成金額
岩手県	特定非営利活動法人 アートで明るく生きるかわさき	葛西　秋夫	８万円
岩手県	社会福祉法人　大洋会　慈愛福祉学園	吉田　幸弥	100万円
宮城県	特定非営利活動法人 ハートライフせんだい	木村眞智子	98万円
宮城県	特定非営利活動法人 ネットワークオレンジ	小野寺美厚	100万円
宮城県	特定非営利活動法人 みやぎ身体障害者サポートクラブ	野澤タキ子	100万円
宮城県	特定非営利活動法人　福祉ネットＡＢＣ	佐藤　耀代	100万円
福島県	特定非営利活動法人 ワークショップすかがわ	川田　　等	50万円

都道府県	団体名	代表者（敬称略）	助成金額
福島県	特定非営利活動法人 さぽーとセンターぴあ	青田　由幸	100万円
福島県	特定非営利活動法人　桜こまち	遠藤　善幸	100万円
福島県	特定非営利活動法人 神谷福祉作業所　ピースフルかべや	杉山　誠子	35万円
福島県	特定非営利活動法人 ひまわりの家	般若よし子	100万円
茨城県	社会福祉法人 にいはり福祉会　にいはり園	細田　秀美	100万円
千葉県	特定非営利活動法人　希望の虹	御園　正行	25万円

海外助成を決定しました

昨年に引き続き、国内で実施している助成制度を発展させ、海外（特に開発途上にある国・地域）の社会福祉の向上を目的に行う海外助成の助成先を決定しました。
第２回海外助成も、ASEAN加盟国で社会福祉を行う非営利団体の活動を対象に募集、４団体合計300万円の助成を決定しました。2012年２月末までに現地で贈呈式が開催される予定です。

【海外助成助成先】

国	団体名	助成金の使途	助成金額（予定）
マレーシア	Beautiful Gate Foundation For The Disabled	身体障害者の就労支援活動のためのWeb開発・維持および開発したサイトの普及活動費。	44万円
タイ	Foundation for Children with Disabilities	脳性まひの障害者のリハビリテーションや学習支援を目的とする特別仕様のパソコン機材などの購入費。	100万円
フィリピン	St.Francis School-VSA arts Philippines, Inc	聴覚障害のある子供の生涯にわたる生活向上を目指すプログラムのなかで、新生児の聴力検査に使用する耳音響放射検査装置の購入費。	67万円

NPO法人設立資金助成を決定しました

東日本大震災の被災地に所在し、社会福祉活動を行う13団体を対象に、１件30万円、合計390万円のNPO法人設立資金助成を行うことを決定しました。
「NPO法人設立資金助成」は、地域福祉を支える団体がNPO法人となる際に必要な資金を支援する事業で、今年度で13回目となります。
2011年10月から12月にかけて公募したところ39件の応募があり、選考の結果、別紙記載の13団体に各30万円、合計390万円の助成を決定しました。
東日本大震災の被災地において、社会福祉活動をする団体が法人格を取得することで、社会的な信用を高め、組織基盤を強化し、継続的に被災地の復旧・復興に貢献していただくことを目的としています。損保ジャパンの各支店で贈呈式が開催される予定です。

【NPO法人設立資金助成　助成先】

都道府県	団体名	代表者（敬称略）
岩手県	特定非営利活動法人　遠野まごころネット	佐藤　正市
岩手県	特定非営利活動法人　子育て支援いっすね	小野寺里子
岩手県	インクルいわて	山屋　理恵
宮城県	特定非営利活動法人　結いのこころ	小島　　等
宮城県	特定非営利活動法人　亘理いちごっこ	馬場　照子
宮城県	仙台グリーフケア研究会	滑川　明男
宮城県	ぐるぐる応援団	鹿島　美織

都道府県	団体名	代表者（敬称略）
宮城県	ブレイクスルー（仮称）	青木　　博
福島県	ミットレーベン設立準備委員会	遠藤　　久
福島県	特定非営利活動法人　オハナ・おうえんじゃー	藤本　　真
福島県	特定非営利活動法人　パンダハウスを育てる会	山本　佳子
茨城県	特定非営利活動法人　東日本大震災応援隊	府川　　守
千葉県	子育て支えあいの会・すまいる	松本　友子

第12回損保ジャパン記念財団賞
贈呈式と講演会シンポジウムを開催しました

2011年７月23日（土）にグランドアーク半蔵門（東京都千代田区）で、第12回損保ジャパン記念財団賞を受賞された秋元氏の記念講演会と、「社会福祉の利用者と人権」をテーマにしたシンポジウムが開催されました。講演会に先立ち、東日本大震災により延期となっていた贈呈式が開催され、佐藤理事長から表彰状をお贈りしました。

損保ジャパン記念財団賞は社会福祉分野の優れた学術文献を表彰する制度です。社会福祉の学問的探求を志向する多くの学者、研究者の研究意欲を促進し、わが国の社会福祉の発展に寄与することを目的とし、社会福祉関係学会理事及び社会福祉学校連盟加入校の学部長その他の指定推薦者の皆様にご協力いただき実施しています。

第12回損保ジャパン記念財団賞では、平成21年４月から平成22年３月末日までに公刊された、社会福祉を主なテーマとするものを対象に、著作部門34編、論文部門12編の推薦について審査を行い、東洋大学社会学部社会福祉学科教授の秋元美世さんの『社会福祉の利用者と人権―利用関係の多様化と権利保障』（有斐閣）が著書部門で受賞となりました。論文部門の受賞該当はありませんでした。

贈呈式は当初３月15日に損害保険ジャパン本社（新宿区）で開催を予定しておりましたが、東日本大震災を受けて延期となり、７月23日の講演会、シンポジウムの冒頭で行われました。



＜記念財団賞　贈呈式＞



＜講演会＞

贈呈式に引き続き、受賞を記念した記念講演会と、シンポジウムが開催されました。

講演会では、秋元美世氏が受賞作『社会福祉の利用者と人権―利用関係の多様化と権利保障』をテーマに発表をされました。社会福祉の制度や政策について考える際に重要なテーマになる「福祉サービスをめぐって、個人と社会と国家あるいは行政がどのような関係にあるのか」について社会福祉の歴史の区切りとなるキーワードを提示され、社会福祉のこれまでの流れを紹介されました。

日本の社会福祉制度の変化に対応して、社会福祉サービスの利用関係の変化をもとに、「消費者としての利用者」「自立・自助を求められる利用者」「保護を必要とする利用者」に利用者像を設定し、それぞれについて社会福祉の制度的展開をより広い福祉理論の文脈に位置づけて説明された著書についてお話されました。

※講演録は後日、損保ジャパン記念財団財団叢書として発行し、ホームページに掲載する予定です。

引き続き行われたシンポジウムでは、『社会福祉が捉える「利用者像」―東日本大震災を踏まえて』というタイトルで、2000年以降の社会福祉基礎構造改革以降の10年間で大きく変貌し、新たに構築されつつある利用者像の長所と問題点を、社会福祉の原論、政策論、方法論の立場から３名のパネリストが発表し、社会福祉の利用者像についての課題を明らかにすることを目指し、議論が進められました。

講演会とシンポジウムを通じて、会場の学者、研究者、学生、福祉現場で働く方などの参加者約150名からは、「現場での後進育成に役立つ内容だった」「今後考えるべき課題が多く含まれるテーマで勉強になった」「震災に関しては、もっと時間をかけて聞きたかった」などの感想が寄せられました。

【シンポジウムにご参加いただいた皆様】

コーディネーター：白澤　政和氏（桜美林大学大学院老年学研究科教授、日本社会福祉学会会長）
パ ネ リ ス ト：岩崎　晋也氏（法政大学現代福祉学部教授）
　　岩田　正美氏（日本女子大学人間社会学部教授）
　　岩間　伸之氏（大阪市立大学大学院生活科学研究科教授）
コメンテーター：秋元　美世氏（東洋大学社会学部教授）

損保ジャパン記念財団が協力させていただいた活動を紹介します。

《第21回アジア・太平洋ソーシャルワーク会議に協賛しました》

アジア太平洋ソーシャルワーク教育連盟（APASWE）と国際ソーシャルワーカー協会（IFSW）が共同主催する第21回アジア・太平洋ソーシャルワーク会議（７月15日～18日に早稲田大学）に協賛し、参加しました。『ソーシャルワークの新たな地平：共生と連帯』という会議テーマのもと、国境を越えてソーシャルワークの更なる発展に向けた議論がなされました。

《「ボランティア国際年+10」を推進しています》

2001年の「ボランティア国際年（IYV）」から10年目を、国連は「ボランティア国際年+10」と名づけ、ボランティアの活動や市民活動の推進を世界中に呼びかけています。当財団もこの推進活動に協賛しています。

《「第20回ボランティアフェスティバル東京」に参加しました》

11月12日、13日に東京・両国国技館、国連大学などを中心に開催された全国ボランティアフェスティバル東京で、「NPOの基盤強化―助成財団との新たなつながり―」をテーマにした分科会のパネラーとして、特定非営利活動法人陽だまり（2005年NPO法人設立資金助成、2008と2010年基盤強化助成先）上田様と事務局長の澁谷が発表しました。

《損保ジャパンパペットフェスティバルに助成先NPOがご参加》

10月９日、10日の２日間、人形劇場ひまわりホールがある損保ジャパン名古屋ビルで、毎年開催されるパペットフェスティバルにおいて、当財団の助成先団体ジャングルジム（2010年助成先）とプラタナスの会（2004年助成先）の皆さんに授産品を販売していただきました。